

かく、えがく。

—菅江真澄遺墨資料展—

江戸時代後期の紀行家・菅江真澄は、各地を旅して歩くなかで、様々な記録を残しました。その内容は日記・地誌・随筆・図絵集など多岐にわたります。本展「かく、えがく。」では、そうした真澄の記録を、それぞれの手法や内容に準じて分類整理し、項目立てで紹介します。

序章 菅江真澄とは

真澄の人物像、旅の目的など

第1章 かく

記す（日記）
詠む（和歌短冊・軸装）
寿ぐ／呪う（応需書）
写す（手沢本・書写本）
綴る（随筆）
編む（地誌）
伝える（書簡）

第2章 えがく

自然（山河、海、沼潟湖、滝、石岩など）
動植物（鳥、魚、草花、木など）
もの（白、土器、古銭など）
祈り／願ひ（神社、寺院、修験、板碑など）
人々の暮らし

終章 最期に記したのは



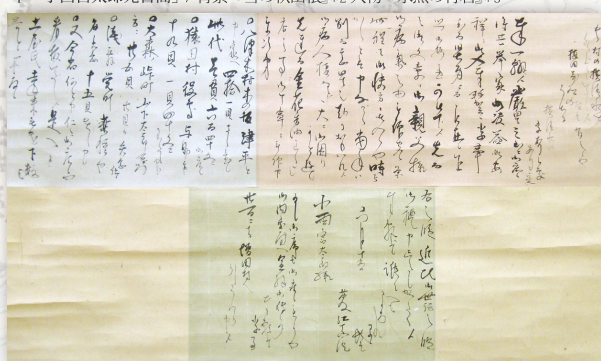
『月の出羽路仙北郡 10 巻』*1

*1～*4はいずれも国重要文化財「菅江真澄遺墨記」



詠歌題「幽栖春月」

下「小西宮太郎宛書簡」/ 背景『雪の秋田根』*2 人物『氷魚の村君』*3



関連事業

真澄に学ぶ教室 講演会

「真澄が見た生活風景—働く女性たちを中心に—」

【日時】 11/9（日） 13:30～15:30

【会場】 当館講堂

【講師】 菊池勇夫氏（宮城学院女子大学名誉教授）
（関市博物館館長）

【定員】 80 名 申込み要

展示解説会

【日時】 9/27（土）・10/26（日）・11/16（日）

いずれも 14:00～15:00

【解説】 角崎 大（当館学芸職員）

【定員】 なし 申込み不要

Access

▶ JR

奥羽本線・男鹿線

「追分駅」下車 徒歩 20 分

▶ バス

秋田中央交通五城目線

「金足農業高校入口」下車

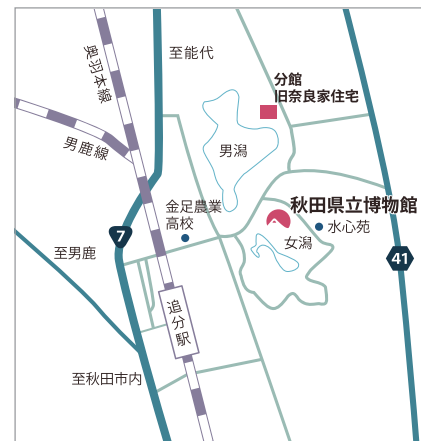
徒歩 15 分

▶ 自動車

秋田自動車道

「昭和男鹿半島 IC」から 10 分

「秋田北 IC」から 15 分



〒010-0124 秋田市金足嶋崎字後山 52

ホームページ・Instagram・
Facebook あります。

秋田県立博物館



TEL 018-873-4121

FAX 018-873-4123

MAIL 右の QR コードから ▶▶▶



AKITA PREFECTURAL MUSEUM

秋田県立博物館